

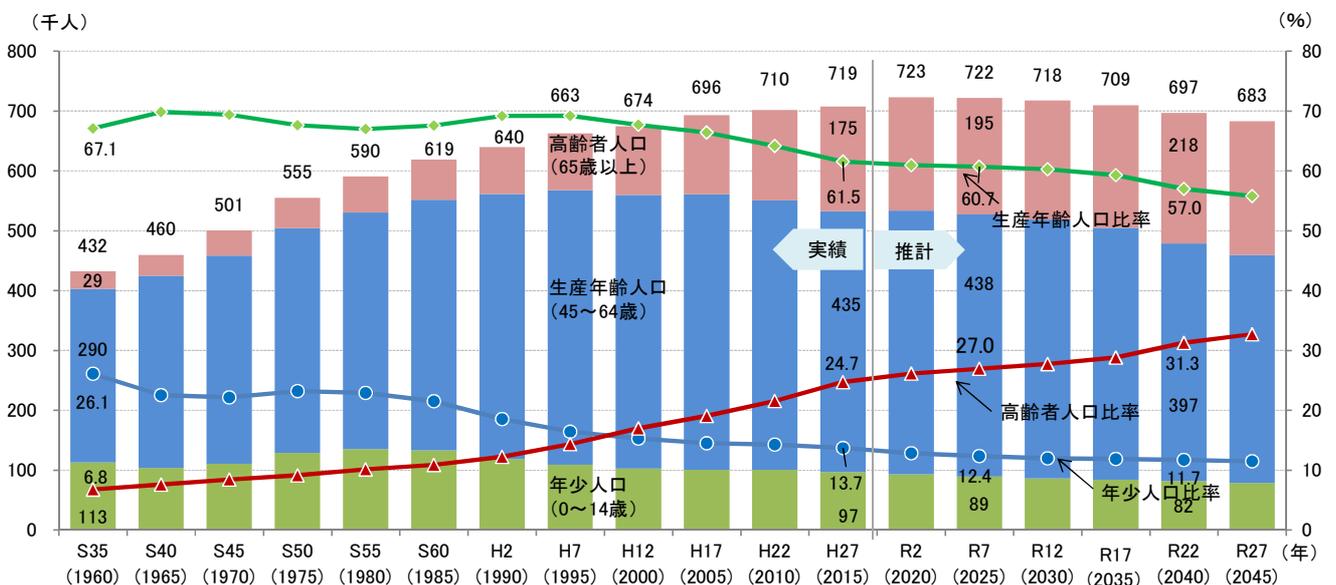
岡山市の現状

- 岡山市の長期的な人口……p1
- 岡山市の高齢者数及び高齢化率の推移と推計……p2
- 岡山市の単身高齢者、認知症高齢者数の推移……p3
- 岡山市の介護保険被保険者数、認定者数、認定率の推移……p4
- 岡山市の要介護(要支援)認定者と認定率の推移……p5
- 岡山市の年齢階級別の要介護(要支援)認定率……p6
- 指定都市別 65歳以上の者のうち要介護(要支援)認定者数の割合……p7
- 岡山市の介護給付費と保険料の推移……p8
- 岡山市の介護保険サービス利用者の推移……p9
- 岡山市の平均寿命と健康寿命……p10
- 指定都市における介護資源比較……p11
- 指定都市における医療資源比較……p12

岡山市の長期的な人口

○ 岡山市は、令和2(2020)年の723千人をピークに人口減少期に突入する。令和22(2040)年には697千人となり、平成27(2015)年から約3%減少する。その間、少子・高齢化は確実に進行し、人口構造は過去とは大きく異なるものとなる。

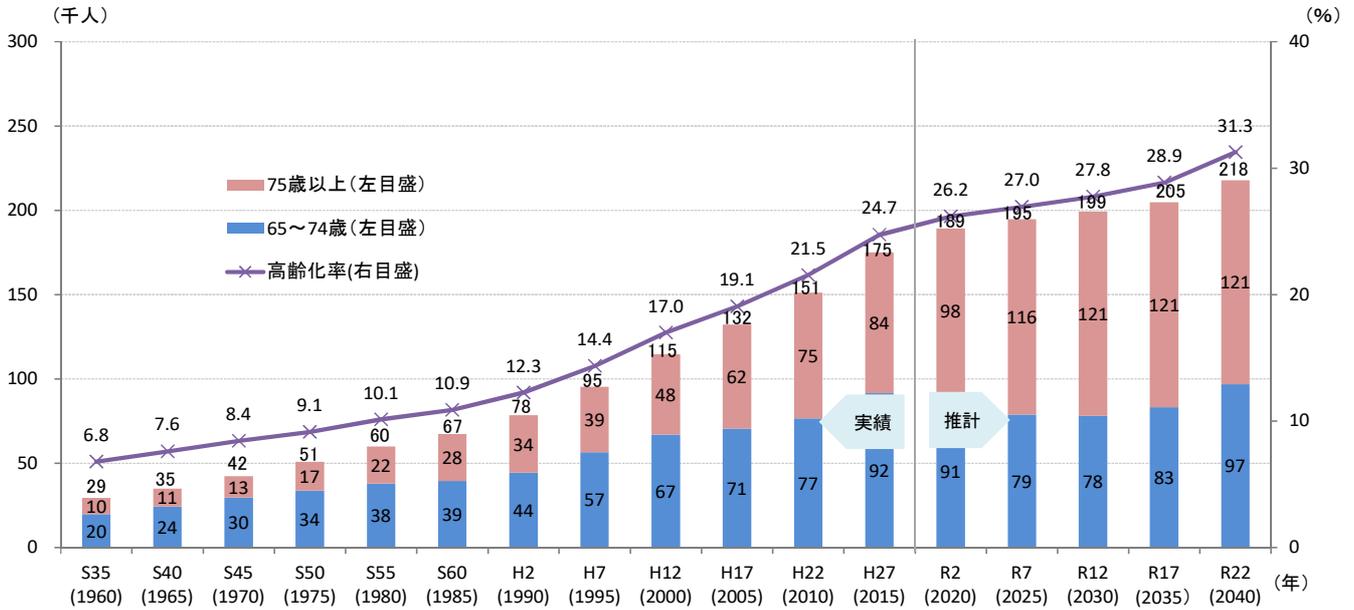
○ 高齢者人口比率は、平成27(2015)年の24.7%(175千人)から、令和22(2040)年には31.3%(218千人)となり、構成比は6.6ポイント上昇する。



(注)人口等は現在市域。人口総数には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出。
資料:総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

岡山市の高齢者数及び高齢化率の推移と推計

○ 平成27(2015)年と比較すると、令和7(2025)年には75歳以上の後期高齢者が約3万2千人増加する。
 ○ 高齢化率は、全国平均より緩やかな増加が続く見込み(令和22(2040)年:岡山市31.3%、全国35.3%)。

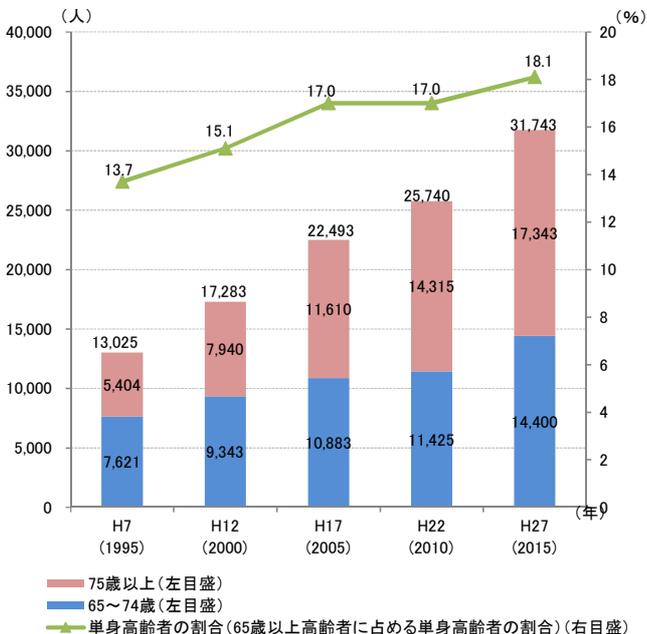


(注) 四捨五入のため、内訳と合計は一致しないことがある。年齢「不詳」を除く。
 資料: 総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

岡山市の単身高齢者、認知症高齢者数の推移

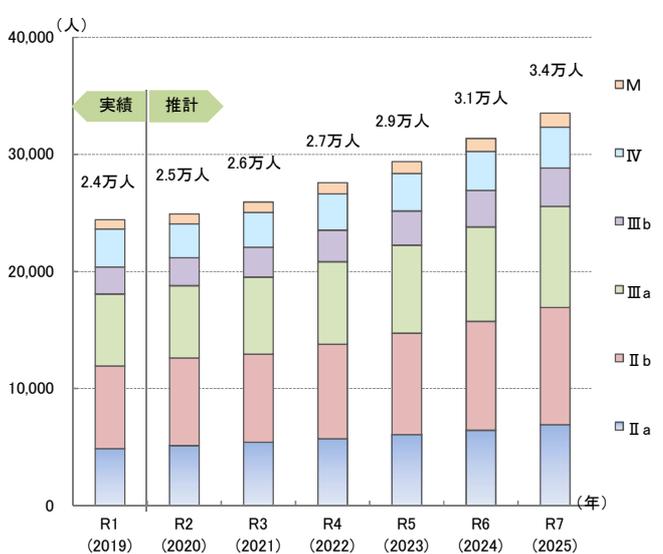
○ 岡山市の単身高齢者は、平成27(2015)年に31,743人となり、平成7(1995)年からの20年間で2.4倍に増加した。
 ○ 特に75歳以上は、平成27(2015)年に17,343人となり、平成7(1995)年からの20年間で3.2倍に増加した。
 ○ 認知症高齢者は、令和元(2019)年の2.4万人から令和7(2025)年には3.4万人になると見込まれる。

岡山市の単身高齢者数の推移



資料: 総務省「国勢調査」

認知症高齢者数の予測人口

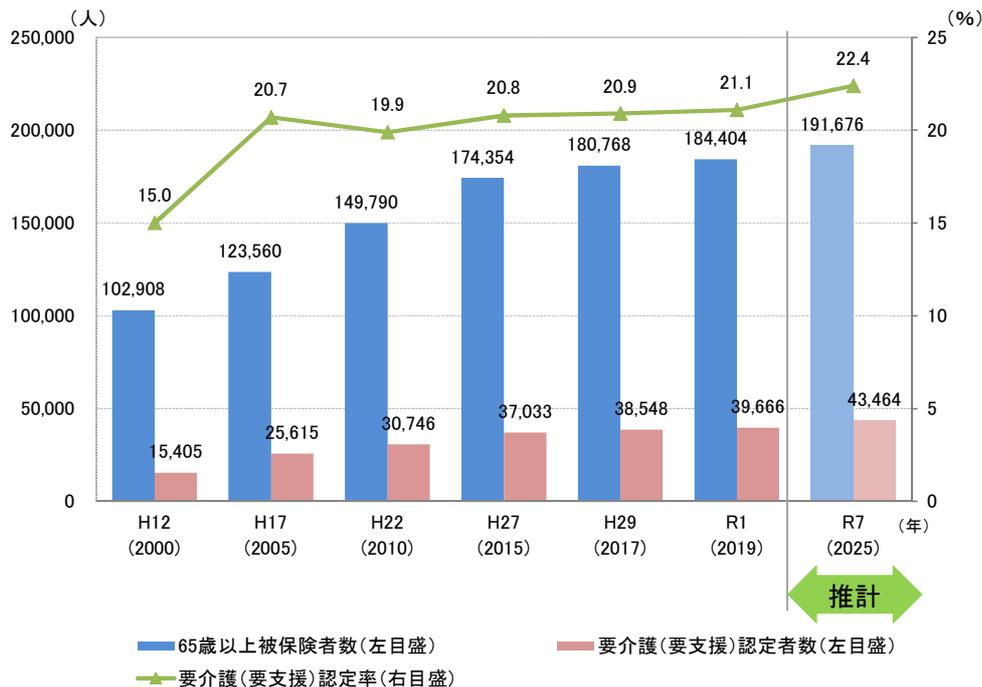


※「IIa~M」は認知症高齢者の日常生活自立度の指標

資料: 岡山市介護認定データ(令和元年9月末)を基に推計

岡山市の介護保険被保険者数、認定者数、認定率の推移

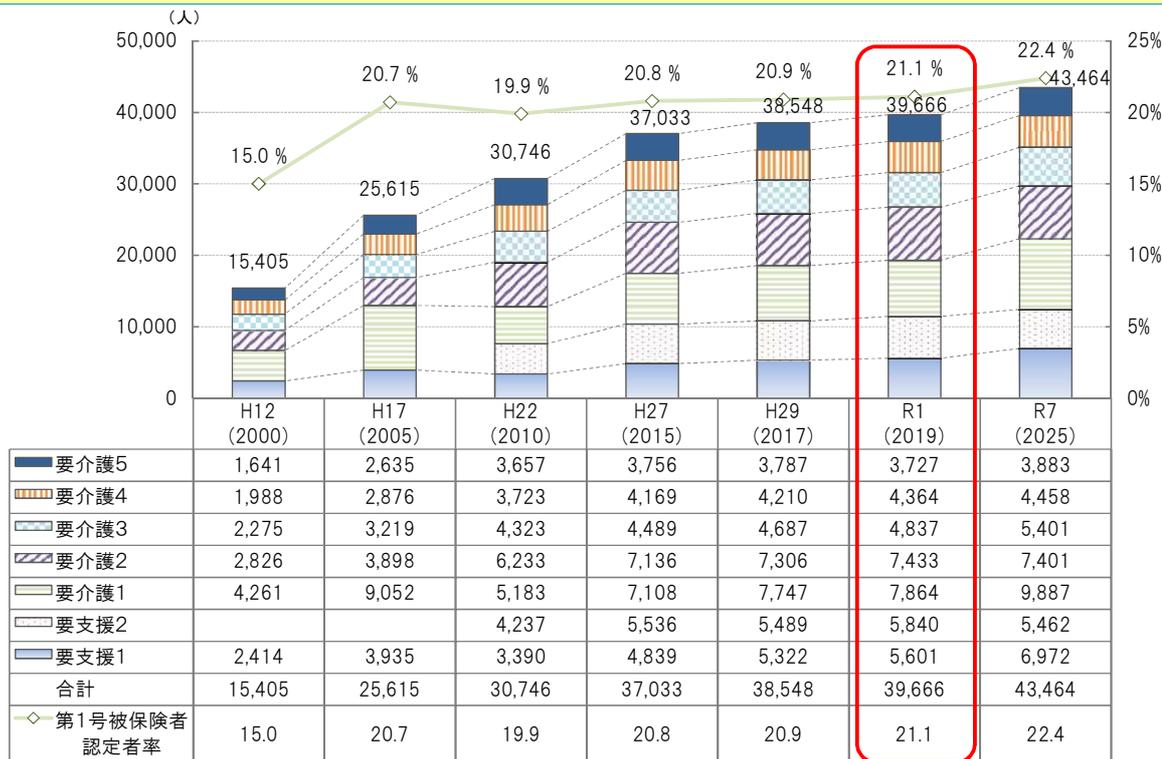
- 65歳以上被保険者は、団塊世代の年齢到達等により平成12(2000)年から令和元(2019)年までの19年間で約8.1万人(79%)増加した。
- 要介護認定を受けている者は、この19年間で約2.4万人(約2.6倍)増加した。



資料：厚生労働省介護保険事業状況報告月報(各年9月末)認定者数は2号被保険者を含む
R7は第7期計画策定時の推計値、認定率は1号被保険者の認定率

岡山市の要介護(要支援)認定者と認定率の推移

- 岡山市における令和元(2019)年9月の要介護(要支援)認定者は39,666人であり、平成12(2000)年9月と比較すると24,261人の増加となっている。認定率は少しずつ上昇している状態。



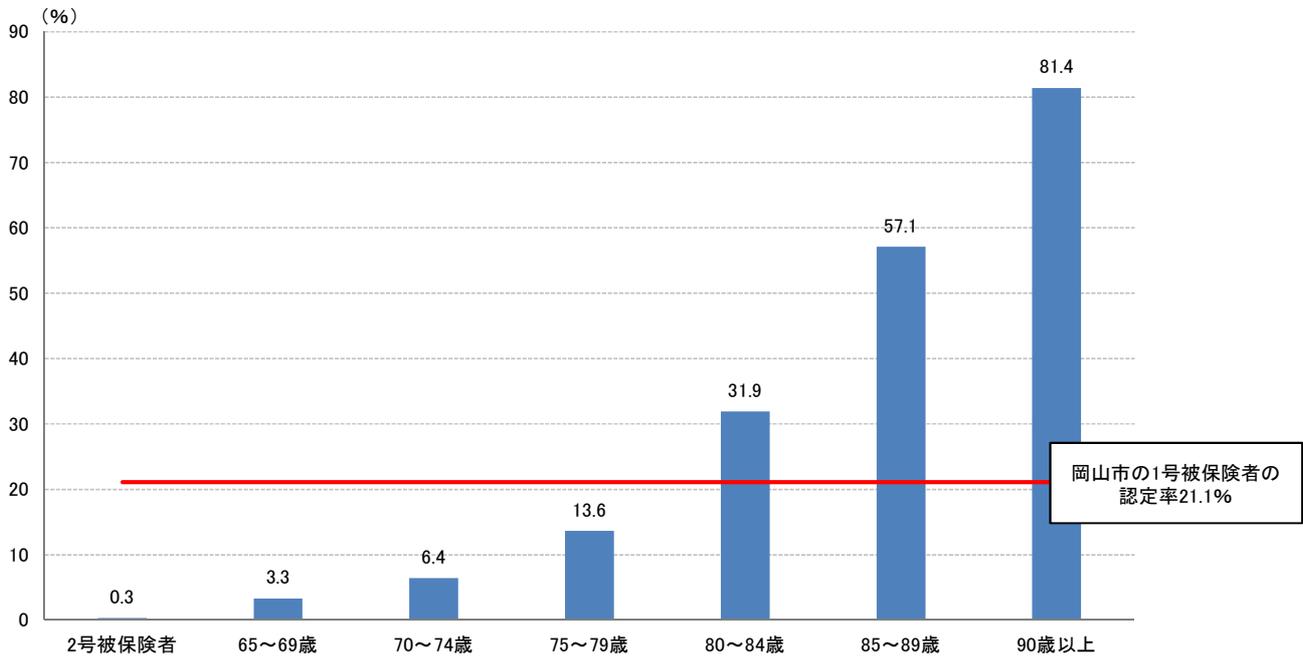
資料：厚生労働省介護保険事業状況報告月報(各年9月末)
認定者数は2号被保険者を含む、R7年は第7期計画策定時の推計値

推計

岡山市の年齢階級別の要介護(要支援)認定率

○ 岡山市における令和元(2019)年9月の要介護(要支援)認定率は年齢階級別に大きく異なり、80歳以上から高くなっている。

岡山市の年齢階級別の要介護(要支援)認定率(令和元年9月)

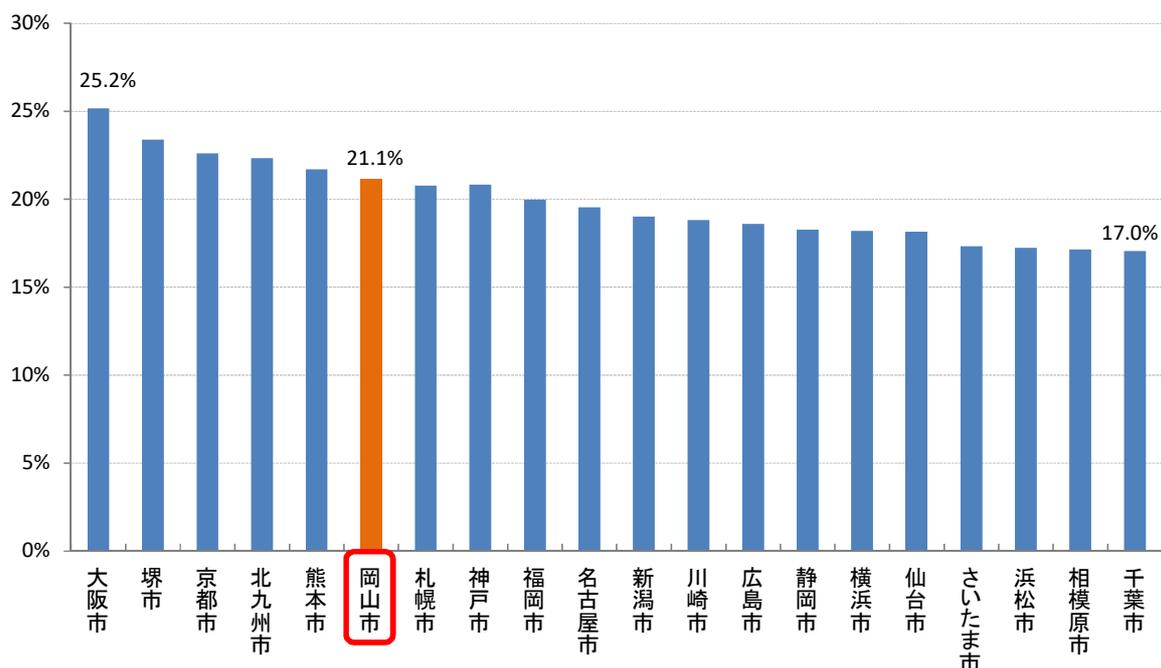


資料:厚生労働省介護保険事業状況報告月報

6

指定都市別 65歳以上の者のうち要介護(要支援)認定者数の割合

○ 岡山市の要介護(要支援)認定者の65歳以上の者に占める割合は21.1%であり、指定都市の中で6番目に高い。

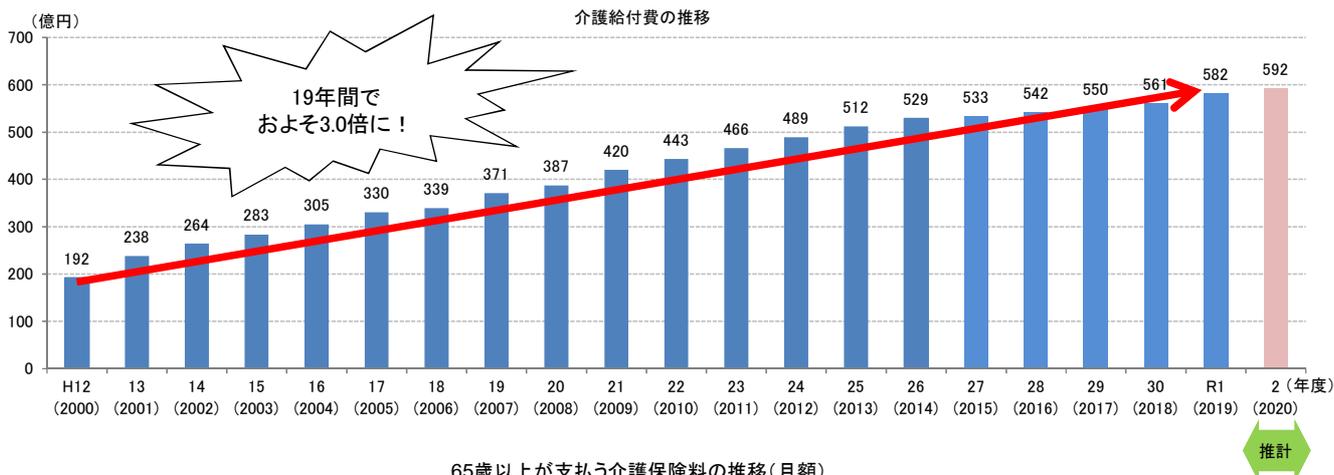


資料:厚生労働省介護保険事業状況報告月報 R1.9月時点
認定率は第1号被保険者の数

7

岡山市の介護給付費と保険料の推移

- 岡山市の介護給付費は、平成12(2000)年度から令和元(2019)年度の19年でおよそ3.0倍に増加した。(平成12(2000)年度:192億円→令和元(2019)年度:582億円)
- 岡山市の平成30(2018)年度の介護保険料は月額6,160円であり、全国的に見ても上昇している。



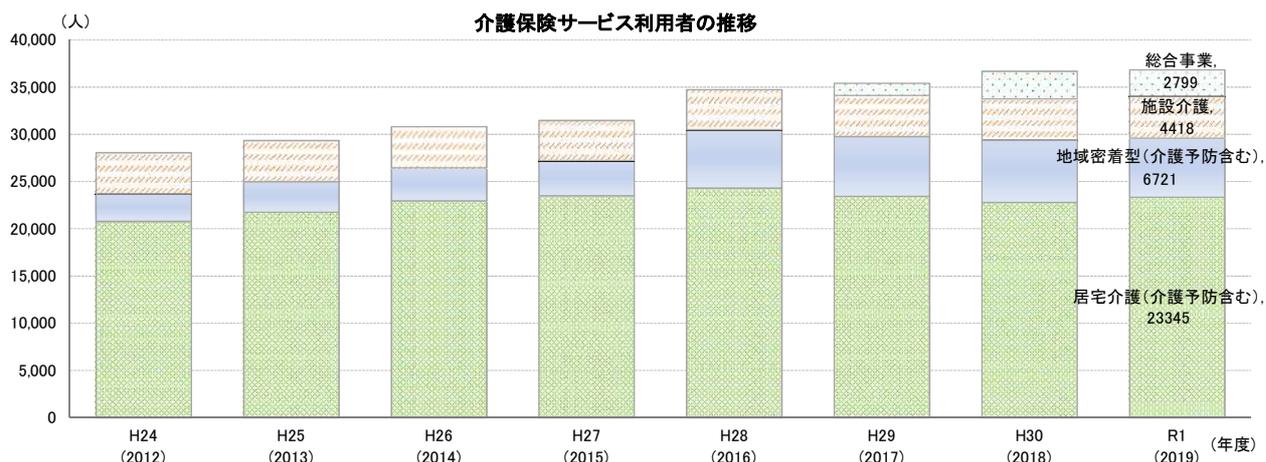
65歳以上が支払う介護保険料の推移(月額)

期間	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
年度	H12~H14 (2000~2002)	H15~H17 (2003~2005)	H18~H20 (2006~2008)	H21~H23 (2009~2011)	H24~H26 (2012~2014)	H27~H29 (2015~2017)	H30~R2 (2018~2020)
岡山市	3,384円	3,920円	4,760円	4,760円	5,520円	6,160円	6,160円
上昇率	—	15.8%	21.4%	0.0%	16.0%	11.6%	0.0%
全国	2,911円	3,293円	4,090円	4,160円	4,972円	5,514円	5,869円
上昇率	—	13.1%	24.2%	1.7%	19.5%	10.9%	6.4%

資料: R2は岡山市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

岡山市の介護保険サービス利用者の推移

- 平成29(2017)年度から開始した総合事業も含めると、サービスの利用者数は増加傾向にある。

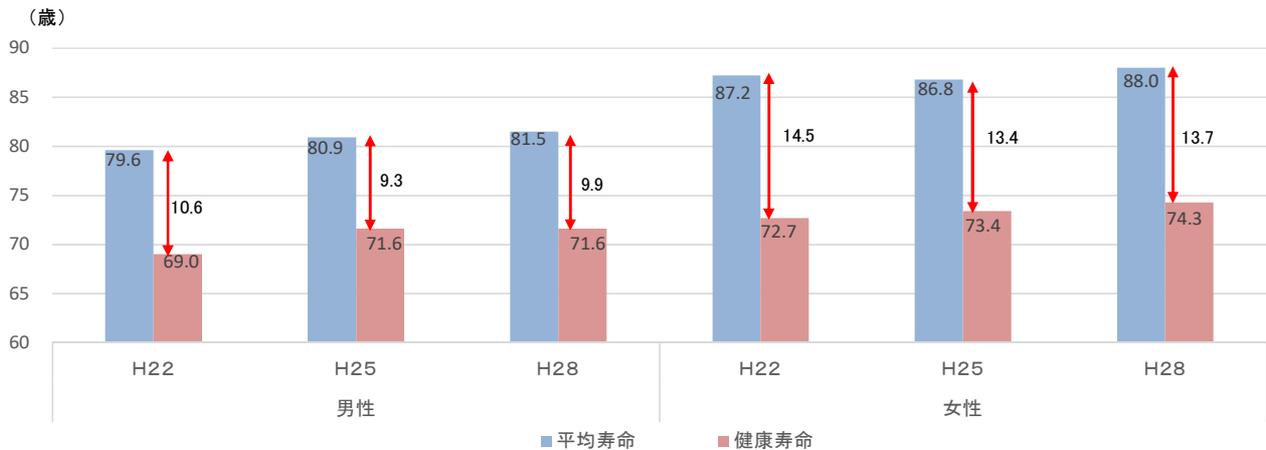


	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
居宅介護 (介護予防)	20,794人	21,734人	22,950人	23,478人	24,303人	23,445人	22,788人	23,345人
地域密着型 (介護予防)	2,891人	3,251人	3,507人	3,734人	6,180人	6,330人	6,584人	6,721人
施設介護	4,357人	4,352人	4,344人	4,246人	4,271人	4,359人	4,393人	4,418人
総合事業	—	—	—	—	—	1,287人	2,930人	2,799人
合計	28,042人	29,337人	30,801人	31,458人	34,754人	35,421人	36,695人	37,283人

資料: 厚生労働省介護保険事業状況報告月報9月利用分
総合事業は国保連給付実績の介護予防ケアマネジメントの件数を計上

岡山市の平均寿命と健康寿命

○岡山市の健康寿命は延びている。
 ○平成28年の数値を全国と比較すると岡山市の平均寿命は男女とも上回り、健康寿命は下回っており、男女ともに全国よりも平均寿命と健康寿命の差が大きい。



平成28年	平均寿命		健康寿命	
	男性	女性	男性	女性
全国	81.0	87.1	72.1	74.8

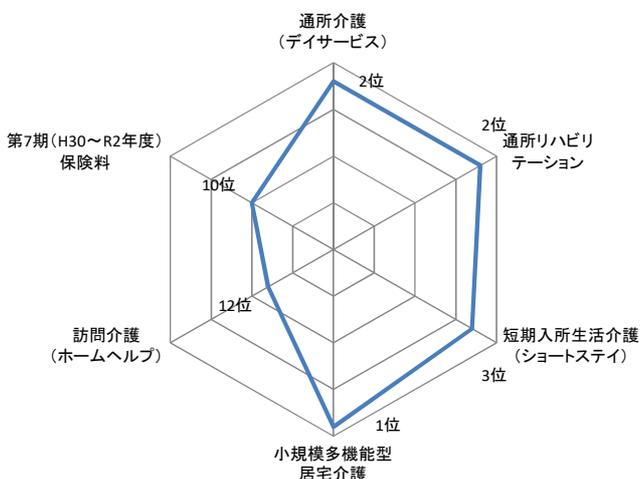
(資料)
 H22・・・厚生労働省「市区町村別生命表(H22)」及び厚生労働科学研究「大都市の健康寿命(2010)」
 H25・28・・・厚生労働省研究班「健康寿命の指標化に関する研究(H27年度分担研究報告書)」
 及び「国民生活基礎調査(H25,H28)」を基に岡山市で算出

※平均寿命とは「0歳時の平均余命」のこと
 健康寿命とは「日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間」のこと(WHO)

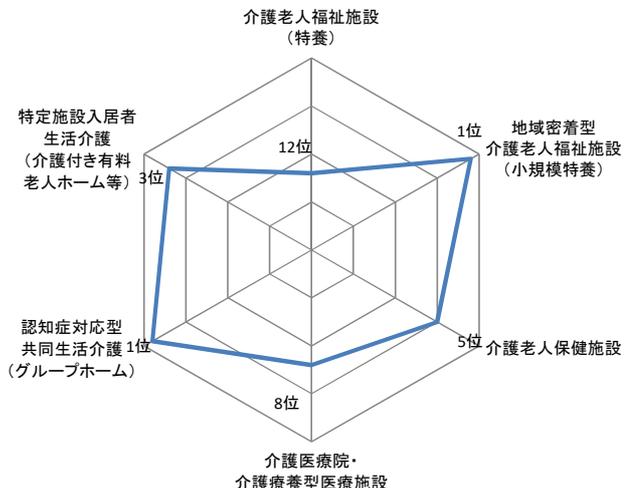
指定都市における介護資源比較

○在宅系サービス事業所数(人口1万人当たり)は、通所介護2位、通所リハビリテーション2位、小規模多機能1位と、充実している。
 ○施設系サービス事業所数(人口1万人当たり)は、小規模特別養護老人ホーム1位、グループホーム1位と、充実している。
 ○第7期(H30～R2年度)介護保険料基準額は指定都市の中で10番目の高さ。

主な在宅系サービス事業所数 本市の順位
 (高齢者(第1号被保険者)1万人あたり)



主な施設系サービス事業所数 本市の順位
 (高齢者(第1号被保険者)1万人あたり)

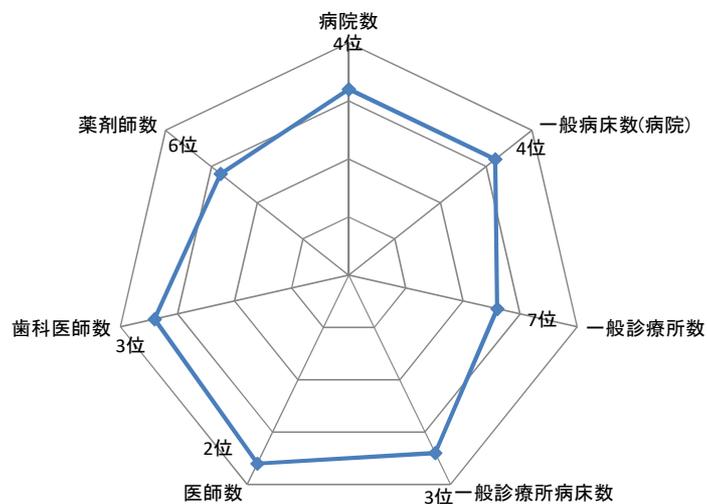


資料:住基人口をもとに作成(H31.3末時点)

指定都市における医療資源比較

○ 医療資源は人口10万人当たり一般病床数(ベッド数)で4位、同医師数で2位など、指定都市の中でも充実している。

人口10万人当たり医療資源に関する本市の順位



資料: 病院数、一般病床数(病院)、一般診療所数、一般診療所病床数
厚生労働省「医療施設調査(H30)」
医師数、歯科医師数、薬剤師数
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(H30)」